

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。

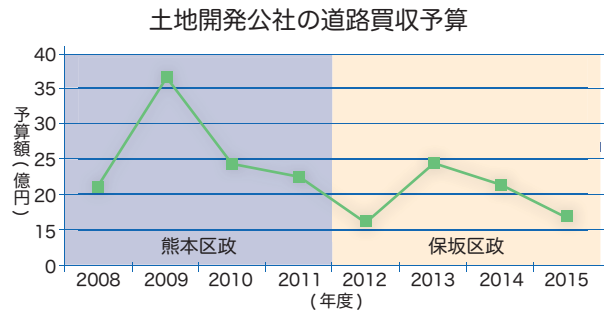
区民の目線で行政をチェック **日本共産党** 不要・不急の予算削減し、くらし・福祉に

保育待機児全国ワースト、特養ホーム待機者 2200 人など、子育てや介護の施策の立ち遅れは深刻です。日本共産党は区の予算を開発優先からくらし・福祉優先に切りかえてきました。

開発・大型道路予算、4年間で33億円を削減

1 不要不急の大型道路予算 ……26億円削減

自民党・熊本前区政は道路の建設スピードを2倍にするとして、道路予算を膨らませました。日本共産党は、区民とともに不要不急の大型道路予算の削減に奮闘、前区政の4年間と比較して26億円を削減しました。(グラフ参照)



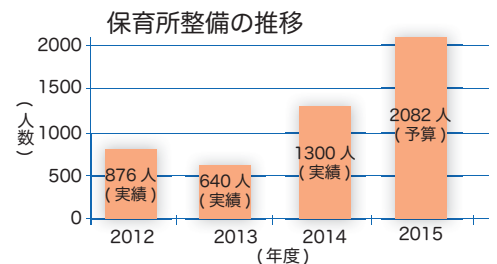
2 二子玉川再開発事業への補助金 ……7億円削減

東急中心の二子玉川再開発事業の補助金の削減を求め、2012年度から3年間でホテルや大企業の本社が入る超高層ビルの補助金、7億円を削減をしました。

くらし・福祉の予算を拡充

1 保育待機児ゼロへ ……整備のテンポを引き上げ

待機児ゼロの実現に全力でとりくみ、整備のテンポを年々引き上げてきました。新年度予算では1年間に30施設、2082人分の整備を進めます。



2 特養老人ホーム ……小規模特養ホーム2施設を予算化

前区政時代、8年間で1ヶ所しかつくらなかった特養ホーム。今期になってすでに500人分の特養ホームの整備(計画)が進んでいます。新年度予算で成城地域など2ヶ所の小規模特養ホーム整備が実現しました。



昨年12月に開設したエリザベート成城特養ホーム

3 胃がん検診 ……4月から非課税世帯が無料に

前区政が有料化したがん検診や特定健診などを無料に戻すことを求め、区民とともに運動。胃がん検診は今年の4月から、他のがん検診、特定健診、長寿健診は2016年4月から住民税非課税世帯の無料化が実現します。日本共産党は完全無料化にむけて奮闘します(23区で有料なのは3区だけです)。

がん検診は4月から非課税世帯無料化へ

2015年4月から	胃がん検診無料化(住民税非課税世帯)
2016年4月から	肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんなどの検診が無料化(同非課税世帯)。特定検診、長寿検診が無料化(同非課税世帯)

第1回定例会報告 & 実績

各区議が2015年第1回定例会で取り上げた質問と新たな実績を報告します。



江口じゅん子



子育て世代応援!

駐輪場にチャイルドシート付き自転車スペース確保を

子育て応援の観点から増加しているチャイルドシート付き自転車スペースを民間含め区内駐輪場に整備する事を求めました。区は「確保に努め、子育て世代の応援を図っていききたい」と前向きな答弁を行いました。



4年間で成城・船橋に特養ホームの建設・計画を実現!

さらに区内初! 成城3丁目に小規模特養ホームと保育園の合築施設建設へ

元看護師12年の経験を生かし、地域の皆さんと特養ホーム建設の運動に取り組み、成城・船橋に特養ホームの建設・計画を実現しました。

さらに2017年4月開設目標で、成城3丁目に区内初の小規模特養ホームと保育園の計画が発表されました。

また、不足している介護職員の確保に、区独自の支援策拡充を求めました。



桜井みおる



若者の雇用の改善に全力

日本共産党の提案で実現した三軒茶屋就労支援センターでのブラック企業対策セミナーが好評です。若者が殺到しているハローワーク窓口の拡充を求めました。引き続き若者の雇用改善に全力をあげます。



三軒茶屋駅南口にエレベーターを 東急が設置を約束

東急田園都市線三軒茶屋駅南口の階段は50段あります。車椅子の方や子どもを抱えた母親、大きな荷物を持った人は、たいへん不便です。こうした声にこたえ住民のみなさんと駅南口にエレベーター設置を求める署名をすすめ、東急電鉄や国交省に交渉を行ってきました。その結果、東急はエレベーター設置の調査を行い、設置を約束しました。



中里光夫



下北沢を高層ビルの街にしないために

下北沢は鉄道地下化に合わせ、駅前広場と都市計画道路54号線の整備が進んでいます。下北沢を高層ビルの街にしないために、建物の高さ規制を見直すこと、54号線を通りぬけ幹線道路にしてしまう2期、3期事業は行わないことを求めました。区長は歩いて楽しい街を守ること、2期、3期事業の慎重姿勢を表明しました。



区議団幹事長として超党派の共同をリード

「解釈改憲反対」「秘密保護法反対」などで超党派の共同宣伝行動や意見書の共同提案を実現しました。安倍政権の暴走政治ストップへ、区議会から声を上げています。



村田義則



「高くて払えきれない」保険料の軽減を……国民健康保険

2015年度の国民健康保険料の値上げが、日本共産党以外の賛成多数で決まりました。子どもが一人いる年収200万円の給与所得世帯(配偶者と子ども15才)では2万2091円の値上がりで、18万2307円になります。低所得者や子どもが多い世帯ほど値上げ率が高く、「もう払いきれない」との声が寄せられています。日本共産党は国保事業への国・都の支出を増やし、保険料を引き下げるとともに、区独自の保険料軽減を求めました。



等々力駅(大井町線)⇄区役所前⇄梅ヶ丘駅(小田急線)のバス運行が実現へ

新年度予算で大井町線と小田急線を結ぶ新しいバス路線の開設にむけた実験運行が実現しました。夏頃にスタートし、2016年度の本格運行をめざします。

開発優先区政の転換に 全力でとりくめ

代表質問を行った 村田義則区議に聞く



2015年度一般会計予算に賛成 国保会計などには反対

Q 3月議会は保坂区政の今期最後の議会でした。新年度予算や保坂区政4年間の評価などについてお話しください。

A 日本共産党は、2015年度の予算に賛成しました。保坂区政の予算に賛成したのは、はじめてです。

保育所、特養ホーム整備、若もの支援など区民要求にこたえた前向きな予算と評価しました。また、前区政が有料化したがん検診、特定健診の低所得世帯への無料化など、「福祉切り捨て行革」の見直しに踏み出したことも評価しました。

全体として、開発や大型道路予算は削減され、暮らし・福祉を充実する内容です。

国民健康保険会計では、今年度も大幅値上げが提案されています(前ページ参照)。特に低所得者に重い値上げであり、党として独自の軽減を実施するよう求めています、実現していません。国保会計には反対しました。

Q 反対から賛成に変わったということですね。

A 保坂区長は「開発優先区政の転換」を公約にかかげ当選しましたが、区長就任後は「前区政を95%継続する」と宣言し、開発・大型道路建設も「行革」計画も継続しました。

私たちは区民のみならずとともに「公約を守れ」と迫りながら、党として「公約実現に協力を惜しまない」と表明し、激励と提案を行ってきました。新年度予算は、区民との共同や議会での論戦の反映と考えています。

Q 開発や大型道路建設の問題は、どうなったのですか。

A 新年度予算では都市計画道路などの用地買収を行なう土地開発公社の予算を減額しています。二子玉川再開発は今年度で終了しますが、この間7億円の補助金削減を行ってきました。

日本共産党は住民運動と連携して不要不急の大型開発に反対し、行政へのチェック役としてがんばってきました。

下北沢駅前開発は現在進められている1期事業と、環七などにつながる2期、3期事業がありますが、2期、3期事業の申請をストップさせていきたいと考えています。京王線沿線の開発・都市計画道路事業は、住民合意を得ずに進められており問題です。合意できるよう計画の見直しをはかることを求めています。外環道の問題では、日本共産党は中止を主張しています。区長には区民の暮らし・環境を守る立場で積極的に対応するよう求めています。

子どもの貧困対策 学習支援や就学援助費の増額が実現

Q アベノミクスのもとで経済格差が広がり、一方、社会保障制度の後退も深刻です。地方自治体でも対応が迫られています。

A 国の悪政から住民福祉を守ることが自治体の役割です。生活保護基準の引き下げは、区政全体の福祉切り下げに直結する問題でしたが、日本共産党の提案で各種事業の条例や要綱などを改正し、区の福祉水準の低下を防ぐことができました。

子どもの貧困対策として無料塾など学習支援の施策を開始し、就学援助費の増額も実現しました。

安倍政権の社会保障破壊から、区民福祉を守るという自治体の役割はますます重要です。今後も奮闘していきます。

住宅都市にふさわしい 子育て、介護にやさしい世田谷を

Q いよいよ区長・区議選です。区長選挙での対応はどうなりますか。

A 自民党などはさかんに「道路予算を増やせ」「行革を進める覚悟を示せ」などと言っています。私たちは区民とともに進めてきた暮らし・福祉優先に向かう区政の新しい変化をさらに前に進めていきたいと思えます。区議会選挙は区政をめぐっての自共対決です。

区長選挙では、開発優先への後戻りを許さないという立場で奮闘します。

Q 当面する区政の課題、日本共産党がめざす区政像をお聞かせください。

A まず、保育待機児解消と在宅子育て支援の充実に全力でとりくみます。

介護の問題では、日本共産党が提案してきた特養ホーム1000人分の増設、地元優先を可能にする小規模特養ホームの全出張所、まちづくりセンター毎の整備を進めます。

地域では「景気回復の実感がない」との回答が80%を占めている現状ですから、中小企業、商店を直接応援する産業対策の拡充が必要です。

地方自治体への期待は大変大きなものがあります。期待にこたえられる世田谷区政にするために、開発優先区政の転換が急務です。日本共産党のがんばりどころです。区議選でも必ず勝利する決意です。よろしくお願ひします。

区が10年間で

区民と日本共産党の共同で実現！

特養ホーム1000人分建設計画を発表！

出張所・まちづくりセンターのエリアごとに、
小規模特養ホームなどの建設を目指します

現在、区内の特養ホーム待機者は2200人あまりです。

区民の皆さんからは「介護が必要になっても、家族のそばで、住み慣れた地域で年を取りたい」「年金でも入れるホームを作ってほしい」という切実な声が寄せられています。

区議団は議会で、出張所・まちづくりセンターのエリアごとに、地元優先を可能にする地域密着型小規模特養ホームを作ることを提案。

区はそれにこたえ、2025年までの10年間で、1000人分の特養ホームの建設計画を発表しました。さらに、出張所・まちづくりセンターのエリアごとに小規模特養ホームか小規模多機能等の整備計画も示しています。

地域では、日本共産党や様々な団体が中心となり、小規模特養ホームを求める署名活動を行ってきました。



小規模特養ホーム増設を求める陳情書名を区長に渡す区議団 (2015年3月24日)

成城・下馬に小規模特養ホームができます

日本共産党は、地価の高い世田谷区での特養ホーム整備をすすめるため、国有地の活用を提案。

このたびは、下馬2丁目の国有地に小規模特養ホーム(2018年4月開設予定)を発表。

さらに成城3丁目には、区有地を活用し小規模特養ホームと保育園の合築施設(2017年4月開設予定)が建設予定です。

現在明らかになっている高齢者の介護施設

特養ホーム(大規模、広域型)	深沢国有地(2017年度開設) 旧希望丘中学校跡地(2018年度開設) 下馬国有地(2018年度開設)
小規模特養ホーム(地域密着型)	成城3丁目(2017年度開設) 下馬2丁目国有地(2018年度開設) 代田南地区会館跡地(2022年度開設)
認知症高齢者グループホーム	2015年から2017年度まで 計画数10
小規模多機能居宅型介護施設	2015年から2017年度まで 計画数6